

## プロフィール

ドント・ゴビ県に生まれたノロバンザト氏は、遊牧民の家庭で民謡を聞きながら育った。1957年にモスクワで開かれた第6回世界青年音楽祭の民族芸術コンクールにおいてオルティン・ドーを歌い金賞を受賞、国立民族歌舞団歌手としてデビューした。その後、モンゴル国内のみならず、東欧各国を始め、スイス、イタリア、中国などで公演活動を続け、功労歌手、人民芸術家として表彰を受ける外、国内最大の榮譽であるモンゴル国家賞など多くの賞を受賞、現在、国立民族歌舞団顧問、モンゴル国立芸術大学主任教授、モンゴル国家賞委員会委員、モンゴル・オルティン・ドー協会会長などの要職にあって後進の育成に努めるとともに世界各国での演奏を精力的に続けている。

モンゴル古代から続く伝統音楽の一つであるオルティン・ドー（長い歌の意）は、独特の唱法と歌手の創意工夫にまかされた装飾音の多用を特徴とする。同氏は、幅広い声域と声量のうゑに精緻な歌唱技術と豊かな表現力を合せ持ち、オルティン・ドーの美を遺憾なく歌い上げている。モンゴル最高のオルティン・ドー歌手であるだけでなく、アジア有数の声楽家でもある。

ノロバンザト氏は、日本国内においても多くの公演歴があり、その300曲を超える幅広いレパートリーの中には、日本の民謡、馬子唄なども含まれている。

### 代表曲

「オヨハン・ザンブーテビーン・ナラン（果てしなく照らす太陽）」

「ゼールゲネティーン・シル（ゼールゲネテの平原）」

「セルーン・サイハン・ハンガイ（涼しい山地）」

「ウリハン・ホンゴル・サリヒ（暖かく優しい風）」

「ヘルレンギーン・バルヤー（ヘルレン川の姿）」

「バヤン・モンゴル（豊かなモンゴル）」

### 公演フィルム

「芸術舞台で」1961 「人生のこだま」1965 「人民歌手」1975

「オルティン・ドーの女王」1991 「果てしなく照らす太陽」1991